

令和2年度 川北中学校学校研究

(1) 研究主題

「よりよい社会と人生を切り拓く資質・能力の育成」

～授業づくりと集団づくりを通して～

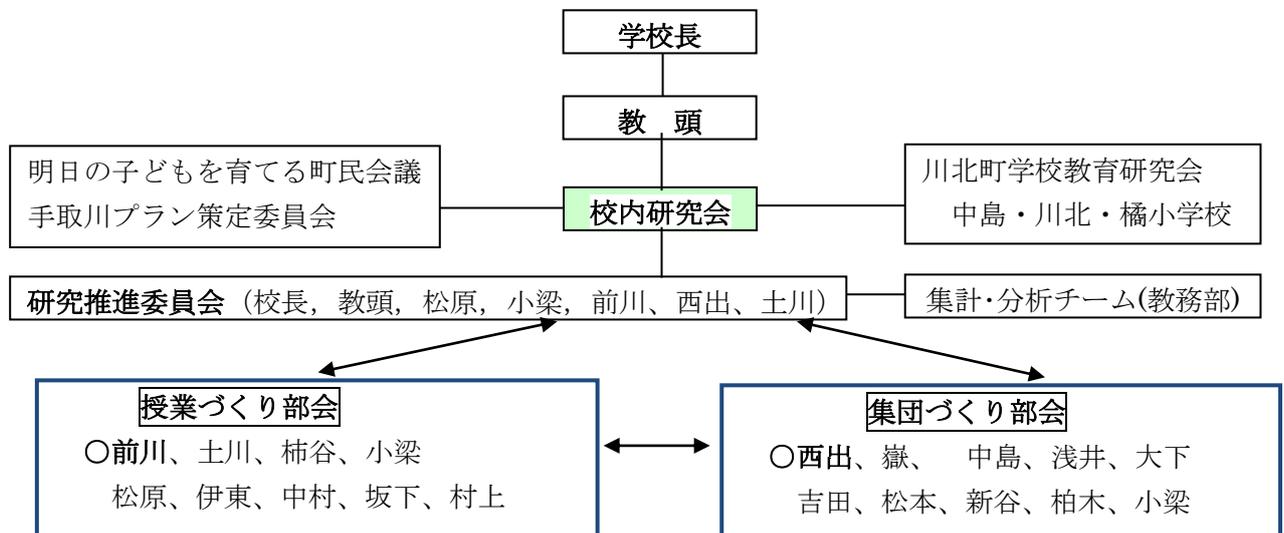
(2) 主題設定の理由

本校では、一昨年度は「聴いて・考えて・発信し合い深い学びを追究する生徒の育成」、昨年度は「深い学びを追究し、自らの考えを発信し合える生徒の育成」を研究主題と題し、主として「どのように学ぶか」を追究して研究を進めてきた。特に昨年度は、それぞれの教科における「深い学び」の具体を明らかにし、教師側が主体的・対話的で深い学びのイメージをもって授業に臨めるようにした。しかし、授業規律が不十分であったことや、「深い学び」を意識した授業設計を教師側が十分構想できていなかったことにより、主体的・対話的で深い学びを追究しようとする生徒が増えたとはいえなかった。

そこで、今年度は原点に立ち返り、授業1つ1つにおいて教師が目標達成にこだわり、それぞれの教科における資質・能力の育成を目指し授業づくりを進めることとした。そして教師が同じ方向で一丸となって向かえるようなシンプルでわかりやすいものとした。つまり、主として「何ができるようになるか」に視点をおいて授業づくりを進めていく研究である。

また、昨年度から取り組んでいる総合的な学習の時間における課題研究は、各教科をつなぐ位置づけでもあり、特に生徒の学びに向かう力を高めるものとして有効である。カリキュラムマネジメントにより、教科横断的に実践できるようにしていきたい。

(3) 研究体制



研究推進委員会・・・カリキュラムマネジメントによる教科横断的实践、PDCAサイクルを意識した研究の推進

授業づくり部会・・・積極的な授業研究、総合的な学習の時間の推進、校内研修の充実、小中連携推進

集団づくり部会・・・居心地の良い集団づくり、道徳教育と特別活動の継続した取り組み推進
掲示物の制作、整備、家庭・地域との連携推進

集計・分析チーム・・・学力テストの集計・分析、学力テスト問題の保管・配付

(4) 研究構想図

【教育目標】

高い知性と豊かな情操を持ち、心身たくましく、創造的で自立した生徒を育てる

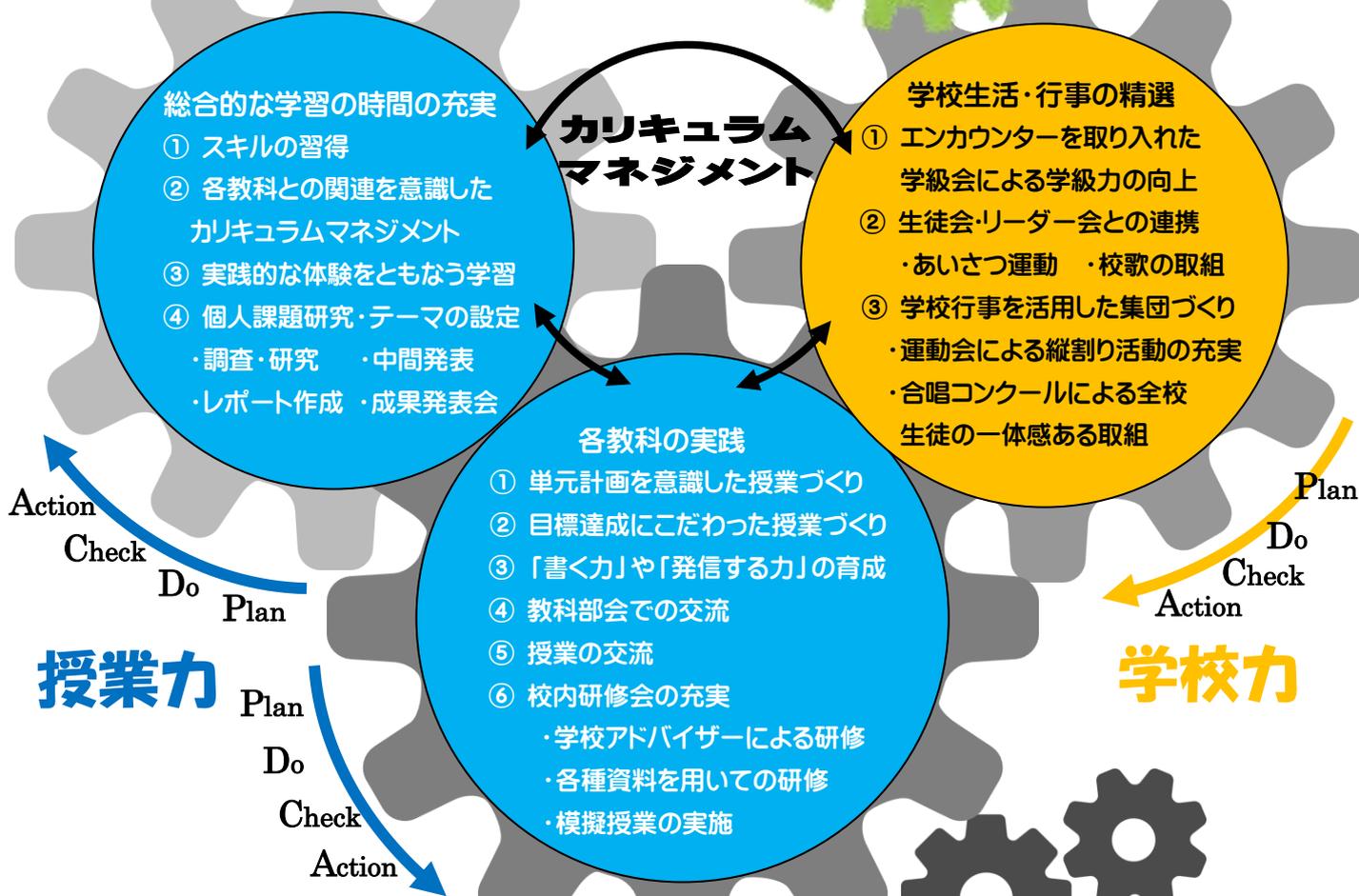
【めざす生徒像】

- 仁智 他人のことを思いやり、ともに高め合う生徒
- 創造 物事に真剣に取り組み、必ずやり抜く生徒
- 自立 自分の行動に責任を持ち、信頼される生徒

【研究主題】

「よりよい社会や人生を切り拓く資質・能力の育成」

～ 授業づくりと集団づくりを通して ～



学びの基盤

- ① 学習規律の確立(授業のルール4か条)
- ② 自己の成長を実感できるキャリア教育, よりよく生きようとする心を育む道徳教育
- ③ 家庭・地域(ヒト, コト,モノ)との連携

(5) 校内研修会

4月 当初	研究推進委員会（研究内容、研究の方向性確認、年間計画の確認）
4月 当初	第1回校内研修会（研究主題、推進体制、研究計画の確認、個人研究テーマの提案、授業規律の共有）
4月 当初	学級づくり学習会
4月 22日	第2回校内研修会（各種資料を用いての授業づくり研修）
8月中	全国学力学習状況調査および県基礎学力調査の分析
8月19日	第3回校内研修会（資質・能力についての研修、教科部会）★学校指導アドバイザー
8月下旬	第4回校内研修会（QU アンケートの分析）
2学期中	計画訪問（公開授業、授業協議会）
10月28日	第5回校内研修会（模擬授業）★学校指導アドバイザー
11月19日	学教研公開授業（川北中学校公開授業）★学校指導アドバイザー
12月24日	卒業課題研究発表会（全校集会）★学校指導アドバイザー
1月20日	第6回校内研修会（各部会の反省と課題）
2月 3日	第7回校内研修会（令和2年度の研究のまとめ、成果と課題の確認）
3月17日	第8回校内研修会（令和3年度の研究の方向）

(6) 検証方法

- ① 生徒学習アンケートを実施し、次の項目を4段階の指標で調査する。
 - ・各教科の勉強が好きか。
 - ・各教科の授業がよくわかるか。
 - ・各教科の授業において、課題の解決に向け、自分の考えをもち、周囲に考えを伝える（書き表す）ことができたか。
 - ・「授業のルール4カ条」を守ることができたか。
 - ・授業で学習したことを普段の生活で活用しようとしたか。
 - ・自分の考えを发表或し合ったり（書き表したり）することは好きか。
 - ・授業の中で目標（めあて・課題）が示されていたか。
 - ・問題の解き方がわからないときは、あきらめずにいろいろな方法で考えようとしたか。
 - ・授業で自分の考えを发表する（書き表す）機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫していたか。
 - ・総合的な学習の時間について、学んだスキル学習を生かして、調べたい、伝えたいという意欲を持つことができたか。（1年）
 - ・総合的な学習の時間について、課題研究を通して、もっと知りたい、調べたいと思える課題をみつけることができたか。（2, 3年）
 - ・総合的な学習の時間について、課題研究を通して、自らの課題について新しい発見があったか。（2, 3年）
- ② 生徒会によるアンケート（学級目標の達成度、あいさつ運動、行事を通しての一体感について）を実施する。
- ③ 教職員アンケートを実施し、次の項目を4段階の指標で調査する。
 - ・単元計画を意識して授業づくりができたか。
 - ・授業では、目標の達成にこだわって授業ができたか。
 - ・授業において、課題やめあてを示すことができたか。
 - ・授業において、教科書に出ていないことやよりくわしいことを取り上げたか。
 - ・授業において、「書く力」や「発信する力」が育成されるような場面を作ることができたか。
 - ・総合的な学習の時間では、生徒に自分で見つけて自分でできたという実感を持たせるような、ファシリテーション（引き出すこと）を意識した指導を行うことができたか。